

後輩たちへのエール！ その50

2022年2月4日

転んでも前へ！！ ～今を生きるみなさんへ～

◇今回は、岐阜聖徳学園大学 西部寛太さん からのメッセージです！

1. はじめに

みなさん、初めまして。2019 年に関高校を卒業した西部寛太です。現在は岐阜聖徳学園大学・教育学部で特別支援教育を学んでいます。私は紆余曲折あって、現在ここにいますので、悩んでいるみなさんの一助になりたいと思っています。少し長いですが、聞いていただけると幸いです。

2. 大学受験での挫折

現在私は特別支援教育を学んでいます。高校時代は国際関係学を学びたいと考えていました。そのきっかけとなったのが、高校 1 年生の夏に参加した礼文島国際共同発掘調査です。そこで海外の研究者の方々と交流を深め海外に興味をもったのです。また、バングラデシュで教育支援を行う方と話す機会もあり、将来は発展途上国の教育の水準を向上させたいと国際協力の道を志していました。そのようなこともあり、より一層 SGH 活動（国際的な経験を通して、高校生が成長していく活動）に力を注ぎ、全国高校生模擬国連大会や日本考古学協会の発表などに参加させていただきました。最終的には、九州国立博物館にて全国高校生歴史学フォーラムにも参加させていただきました。

そのような経験を武器に、ある大学の AO 入試と推薦入試を受けました。しかし、私の力不足で落ちました。まわりの友人たちは、難易度の高い国立大学に続々と合格していきました。それに対して私はずっと目指していた大学に入ることができないという現実を受け止められずに、涙が止まらず、学校に行けなくなってしまいました。この時期、私は今までの人生で一番絶望したと思います。

3. 大学生活

そして 2019 年 4 月、唯一合格した岐阜聖徳学園大学教育学部に入学しました。大学受験での挫折の影響で入学当初は気分が沈み、学ぶ目的も見つけられず、まったく楽しくありませんでした。そんな時、大学の先生が、現職教員向けの教育学フォーラムについて教えてくださいました。そこに参加してみると全国から現職の先生が集まり、講演を聞いたりディベートをしたりと一生懸命学んでいたのです。その光景を見て私は、「教員になってからもこれほどまでに学んでいるのは、教育にどんな魅力があるのだろう？」と思いました。この時から教育についてもっと知りたいと思うようになりました。

そして私は「いつまでも下を向いていてたまるか！」と様々な経験をしていくことを決心しました。困り感のある子どもたちに関わるボランティアに参加し、放課後等デイサービスや療育に関するアルバイトもしました。また、大学受験期に精神的に弱くなってしまったので、強い精神を養うために、某うどんチェーン店で、立ちっぱなしのアルバイトを二年間続けました。大学では少しでも興味があれば必ず講義に参加しました。後に友人や先生から「単位の取りすぎだ！」と言われるほど多くの講義に参加し勉強しました。

そして、小学校や中学校、特別支援学校での教育実習を終えた今、私は特別支援学校の教員になりたいと考えています。私はこれまでに障がいを持している、一生懸命生きようとする子どもたちと沢山出会ってきました。そんな子どもたちの背中を押すような教員になりたいと思っています。



大学のカリキュラムフレンドシップ活動

4. 転んでも前へ！！ ～今を生きるみなさんへ～

大きな挫折をした私ですが、今はその挫折があったからこそ教員を目指しているのだと思います。私は大学の受験会場に向かう時、父に言われた言葉が今も忘れられません。「努力は報われるとは限らないけど、努力が無駄になることはない。」と父は私に言いました。どれだけ大きな挫折をしても、今の自分にできる努力を地道に行っていけば、どん底から這い上がることができます。もし、あなたが挫折したり悩んだりしているなら伝えたいです。

あなたはいつまでも下を向いていますか？

それとも何かに挑戦してみますか？

努力は無駄にはなりませんから、一歩踏み出してみませんか？



ゼミの仲間と



クラスメイトとスキーへ